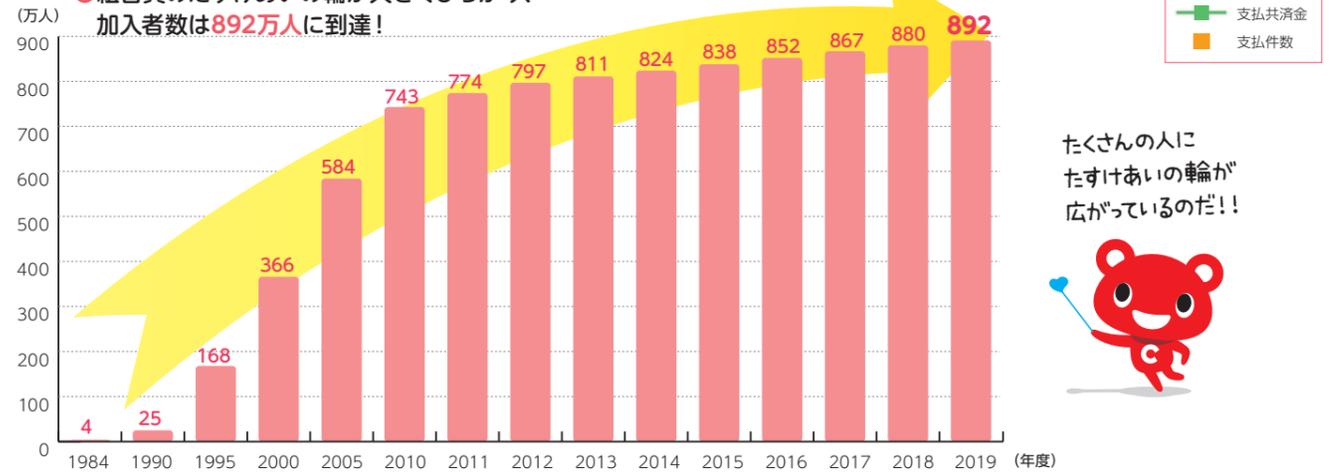


## CO・OP共済の到達点

CO・OP共済は1984年に誕生し、組合員のたすけあいの気持ちをかたちにして広がってきました。元受商品は《たすけあい》にはじまり、《あいづらす》《ずっとあい》と組合員の声に応じて商品開発をすすめ、会員生協との共同事業として次のように大きく発展してきました。



●組合員のたすけあいの輪が大きくひろがり、加入者数は892万人に到達!



# CO・OP共済 2030年ビジョン

一緒につくる **明日の暮らし**  
~CO・OP共済2030~

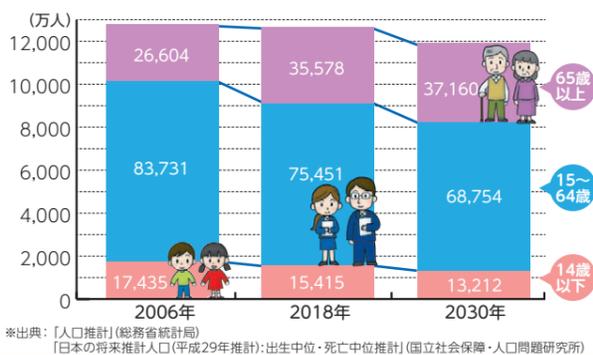
CO・OP共済はみんなの力でつながり、ささえあい、組合員と家族によりそい、新しい“たすけあいのかたち”とよりよい明日の暮らしを一緒につくりまします。



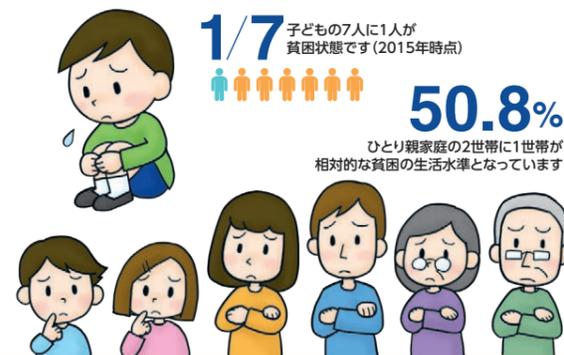
CO・OP共済は、これからの10年を考えた新しい長期ビジョン「CO・OP共済2030年ビジョン」を策定しました。生協の保障事業として組合員の声をベースに、手ごろな掛金、いざというとき役に立つ保障内容、わかりやすい手続き、コスト低減といった改善を常にすすめながら、組合員とその家族によりそい役立ち続ける事業と活動を組合員と一緒ににつくっていきます。

## これから10年の組合員の暮らしや共済・保険業界はどうなるの?

### 人口減少・高齢化



### 格差の拡大



### デジタルイノベーションの加速



### リスクの細分化



## 大切にしたい5つのこと

参加と共感  
組合員の参加と共感のエネルギーをかたちにし、組合員どうしのたすけあいであるCO・OP共済の良さや想いをより多くの組合員・職員に広めること。

暮らしへ貢献  
暮らしを取り巻く環境が厳しいからこそ、暮らしの安心保障を提供するCO・OP共済が役立つ場面が増えること。特に、女性と子どもの保障に特徴を持つこと。

変化への対応  
組合員の暮らしや環境の変化をとらえ、役立ち続けられるように変わること、チャレンジすること。

地域へ貢献  
人口減の中、組合員の地域での暮らしを守るために、行政や他団体と連携し地域社会での役割発揮を高めること。

## 明日の暮らしをつくる安定した事業運営

保険業界の競争激化、IT技術による業界変革、人口減少・少子高齢化による推進へのマイナス圧力に向き合っていく中で変化への対応力を向上させること。

## 2030年までの事業目標

元受加入者  
1,000万人

人口減少・業界大変革による競争激化でもたすけあいの輪を大きく広げていきます

支払率  
7%強向上

たすけあいの輪が広がることで、保障内容を改善し組合員の元にさらなる安心をお届けします

経常剰余率  
18%以上

支払余力率※  
280%以上

たすけあいの輪が広がることで、安定した事業運営を可能とします

### めざすもの

1

たすけあいの仕組みで、生まれる前から一生涯の保障を提供できる姿 (商品開発課題)

- ①女性と子どもの保障に特徴を持ち、わかりやすく、シンプルな保障に進化します。
- ②学生から新社会人世代へのたすけあいの輪を広げます。
- ③人生100年時代にふさわしい高齢者の保障や健康づくり活動の充実をはかります。
- ④元受共済、受託共済、団体保険などをバランスよく取り扱い、組合員のくらしの総合保障の充実をめざします。

2

たすけあいの輪が広がっている姿 (推進課題と共同事業の課題)

- ①CO・OP共済未加入者へのお知らせと既加入者への対応をすすめます。
- ②年代ごとのおすすめ内容を明確化し、一生涯の保障を提案します。
- ③共済推進スタッフの体制づくり支援と教育研修制度の充実をはかります。
- ④組合員同士の情報発信を広げます。
- ⑤CO・OP共済のブランディングをとおして認知度向上の活動を強化します。

3

組合員自らが「わたしたちの共済」と思える姿 (組合員の参加と共感を広げる課題)

- ①組合員がCO・OP共済の運営に参加する場を広げます。
- ②共済事業を通じて組合員が社会貢献活動に参加する機会を広げます。
- ③会員生協の組合員活動への支援を強化し、学びあい、たすけあう活動の輪を広げます。

4

便利でやさしさと安心を感じる手続きができる姿 (CO・OP共済らしい事務構築の課題)

- ①加入や保全の場面での改善をすすめます。
- ②共済金のお支払いの場面での改善をすすめます。
- ③加入者からの問い合わせ対応や定期的な案内での改善に取り組みます。

5

社会的役割発揮や生協事業の総合力発揮に貢献するCO・OP共済事業の姿 (事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題)

- ①くらしやすい地域社会の実現に向けCO・OP共済としての社会貢献活動に参加します。
- ②CO・OP共済のお役立ちの場面をより多角化する検討をすすめます。
- ③会員生協との共同事業と協同組合間協同を深めます。

6

職員がやりがいをもって生き活きと働いている姿 (CO・OP共済を支える職員の育成課題)

- ①CO・OP共済ファンの職員を増やす取り組みをすすめます。
- ②共済事業の専門性を高めるとともに、生協の現場を学び提案力を高めます。
- ③働き続けたい職場づくりをすすめます。

7

安定した事業運営ができている姿 (事業運営課題)

- ①基幹システムの再構築など、CO・OP共済の事業基盤を強化します。
- ②BCP対策を継続します。
- ③適切かつ安定的な事業運営を継続します。
- ④加入者が安心して加入し続けられるよう財務の健全性を維持・向上します。

